



二月及び三月の幼児生活

東京府女師附屬幼稚園

ト 部 た み

二月の主材

- 節分
- 初午
- 紀元節
- 二月の庭園其他
 - 梅、椿、葉ぼたん、水仙、金糸梅、木々の冬
 - 芽、果物、鶯其他小鳥飼育
- 梅見
- 雪遊び
- 二月の誕生會
- 童話會

○雛祭りの仕度

三月の主材

- 雛祭り
- 地久節、春季皇靈祭、陸軍紀念日
- 三月の景色、陽氣
 - 春雨、かげろう、桃、かいどう
- 彼岸
- 戸外保育
- 三月生れの誕生會
- 進級の楽しみ
- 學年末の集り(送別會)
- 終業式

週 曜	1	2	3	4
<p>自由遊び (カルタ、積木、日記の繪) 談話(日曜の話り繪の説明) 唱歌(夕暮の唄、其他) 物廻し遊び(繪本、羽子板、繪葉書、手紙、手袋等) 遊戯(夕暮の唄其他)</p>	<p>お話會の仕度(二組と合同) (お手紙の繪、ポスター作り) 運動 (ボール投、肋木登り、平遊戯(同上)) 唱歌(均臺) 唱歌(あられ練習其他) 遊戯(同上)</p>	<p>自由遊び (積木、かるた、双六、色板) (三體つなぎ、汽車ごっこまゝごと) 談話(兔の片耳) 觀察(兔及鳩、猿) (於普通院) 唱歌(小さい子其他) 遊戯(凧其他)</p>	<p>自由あそび 此の間にテスト (本校教諭指導) 二月生れの誕生會の仕度室の裝飾作り 贈物作り 遊戯唱歌其他の練習</p>	
<p>積木、郵便屋ごっこ、(ハガキ作り、切手作り、局作り等) 自由あそび(カード、色紙、クレヨン、帽子、肩掛、マント等の中から命令の色の物を持来らしむ) 觀察(校内) 唱歌(あられ)及遊戯</p>	<p>お話會仕度つゞき(手技) 散歩(觀察) (霜どけ、雪どけ、つらら) 氷、冬芽、霜よけ、電信工事、校舎手入普請場 明日の會に就ての話 (談話、唱歌、遊戯、其他練習)</p>	<p>自由あそび(同前) 唱歌(小さい子の歌の内容を繪(小さい子)に發表) 談話(各自の繪について話) 色あて、音のきゝわけあそび 音と聲(お話遊び) リレー(ボール投げ、ボールさがし)</p>	<p>自由あそび(同前) 談話(雪の御殿) 唱歌(雪やこんこ其他) (雪つり、雪だるま、雪投げ) 本校々庭で雪合戦をみる 繪(雪に關するもの) 誕生會の仕度</p>	
<p>自由あそび 談話(豆蔵の行方) 豆まきに就て及其仕度 手技(繪、折紙) (豆蔵の入れもの、鬼) 運動 (ボールさがし、リレー) 遊戯(あられ練習)</p>	<p>自由あそび 會場作り、椅子撒び 童話會(零時半—二時半) (幼、尋一、二保護者) (幼児數名、先生三名、來賓の話、唱歌、遊戯、お話あそび等)</p>	<p>自由あそび(同前、火鉢に紙をあぶりつゝクレオンにてかく事はやる) 談話(黄金の鷲鳥) 塗繪(同上の一場面) 唱歌(小さい子、其他) 遊戯(凧)其他練習</p>	<p>自由遊び(同前) 言葉つなぎ、もの廻し 誕生會(十時半—十一時半) (お話あそび、板畫、樂隊) 色カード、文字カード遊び ボール送り、ボール投げ</p>	

曜 週	第 四	第 五	第 六
1	<p>自由遊び(主にかるた) 手技(折紙、切紙、貼紙) 豆の入れもの、鬼 運動 (ボールさがし、リレー) 角力、ジャンケン飛び) 談話(節分の話) 豆まき、豆拵ひ 唱歌(あられ、其他)</p>	<p>自由あそび(積木、其他の恩 談話(今朝幼稚園にくるま ての事) 雪あそび(雪の中を駆け廻 る鬼、だるま作り) 雪見 (本校及小學校の庭、植 物園の遠景) 塗繪及自由繪 雪に就ての問答 雪の歌及其他</p>	<p>自由あそび(同前) 談話(雪の御殿) 唱歌(あられ、雪、其他) 遊戲(同上) 自由あそび (物まはし 仕度競争) 繪</p>
2	<p>紀元節 自由あそび(積木、其他の恩 物) 廻し、言葉つなぎ、物 散步(澤藏司稻荷)初午の話 (校庭)主として冬芽の観 察 談話(鶯の話) 唱歌(小さい子)新授 遊戲(雪やこんこ、凧、其 他)</p>	<p>折紙(鶯、其他) 自由遊び 積木、汽車ごっこ 遊戲室一面にレールを 作り汽車の往復はげし 保育室机の上は小さい積 木で合同の建物出来る あと始末の後 唱歌(小さい子) 遊戲</p>	<p>自由あそび(同前) 明日調査に来る幼児のお 土産を作る(一本以上数 本宛) 手技(麥藁通し及折紙) 散歩(寄宿舎の庭) 唱歌(寄宿舎の庭) 遊戲(小さい子、凧、其他)</p>
3	<p>自由あそび(同前) 自由遊び 談話(人形病院) お雛祭り(就て及仕度 手技(大裏雛、雛段作り) (キビガラ、豆、畫用紙等) 唱歌(雛祭り第一段) 自由遊び (お雛様あそび)</p>	<p>自由あそび (主にあぶり繪) 散歩 銀杏寺―傳通院―牛 天神(梅の蜜) 談話(天神様と梅) 唱歌、遊戲、練習</p>	<p>自由あそび (人形作りつゞき) 唱歌(雛祭り第一段) 遊戲(凧、雪、其他練習) 身體検査</p>
4	<p>自由遊び(同前) 自由あそび お雛祭り仕度 手技 (三人官女、五人囃作り) (其他道具作り) 雛段飾り(遊戲室) 唱歌(雛祭り第一段) 遊戲、練習 自由あそび (雛段の前でまゝ事す)</p>	<p>自由あそび (自由遊び)</p>	<p>自由あそび (自由遊び)</p>

		週		幼一、三月の生活	
三	第	二	第	一	第
				1	自由遊び (日曜の話、家のお雑飾) 唱歌(雑祭り第二段) 手技(人形及道具作り) 室内に雑飾り(合作) 運動
				2	自由遊び (数観念調査) 談話(お菓子の御殿) 唱歌(お菓子の汽車) 遊戯(兵隊遊び、其他) 自由あそび (数カード拾ひ、 ボール投げ)
				3	自由遊び 動物園ごっこ続き キビガラ(動物作り) 二組と合併して動物園 ごっこ、一組はお客様 となり、お金を作り入 場、巡覧 午後迄続く 唱歌、遊戯、練習
				4	證書授與式 保育満了式
三月節句祭り (三月生れ誕生會 幼稚園、尋一、二)お客様 談話(招待、其他) 遊戯、唱歌、お話遊、其他 自由あそび (各家庭より持來つた人 形)あそぶ	手技(貼紙、切紙、塗繪) 豆煎のいれもの(手さげ 箱) 唱歌(雑祭り第二段) 談話(可愛らしいお客様) (雑祭り招待状作り、 招待状くばり) 遊戯練習	自由遊び(調査同前) 遊戯(兵隊遊び、其他) 唱歌(お菓子の汽車)其他 繪(同上の内容發表) 自由あそび (積木の汽車、其他)	自由あそび 言葉つなぎ(尻つなぎ) 談話(鬼の御殿) 繪(話の内容を繪に發表) 展覽會 (動物の繪、其他自由畫、 貼紙、切紙、キビガラ豆 細工、其他)	三月十日陸軍記念日の話 遊戯(兵隊遊び、其他) 談話(動物の園) 散歩(本校庭)	自由遊び 卒業證書授與式豫行 遊戯、練習會

曜 週	第 四	第 五	第 六
1	自由遊び (主に雑段の前でまよこ と) 一、二年からの雑祭りの禮 状をよむ 繪(お雛様の繪) 唱歌(雑祭り第二段及練習、 其他) 遊戯(兵隊あそび)	自由あそび(同前及砂場等) 運動(肋木登り、リレー、平 均臺等) 唱歌(雑祭り其他) 繪(自由) 談話(桃の種) 觀察(種と蕾の區別) 遊戯(兵隊遊び、其他)	自由遊び (風の問答、日、影等) 遊戯(兵隊あそび、其他) お雛様とお名残の集り 片付け(手傳) 自由あそび (砂場、恩物、まよごと)
2	上野動物園行 (尋一、幼稚園)	自由あそび 昨日の話 繪に發表 (ラクダ、ライオン、カン ガアル、孔雀、熊、象等) 續いて切紙、貼紙に入る 自由あそび 動物園ごっこ 電車ごっこ	自由遊び 動物園遊びをするため動物 を作る(手技) (教師、幼児合作) 唱歌(お菓子の汽車、其他) 遊戯(兵隊遊び、其他)
3	自由遊び 學年末終りの會 藝藝練習會 第一部(二年と幼児)送 別會 教生との送別會 (幼児童、先生、教生) 保護者合同の會合	自由あそび (色カードあそび 繪、切紙、キビガラ等) 談話 (二の組になつたら) 各兒思ひに發表 唱歌、遊戯、練習 身體検査	終業式。教生告別式。 第一部おわかれの集り
4			

音の聞きわけ遊び

音の感覺には、高低、強弱、性質及長短の四つの屬性のある事及それ等に就ての説明等は心理學のよくする所として、私共は如何に子供を喜ばせ面白く遊ばせつゝ、此の教育を行はうかといふのが考へるべき點であらうと思ひます。從て聽覺教育といつても其の方法材料等非常に多種多様限りなくあり、日常の保育中に織り込んで行はれてゐる事と存じます。

その最も重要な位置をしめるものは音樂教育を第一とし、遊戯即ち律動的遊戯の様に音樂の伴ふ運動遊戯、或は談話其の他の仕事の間に行はれるべきものであります。

私の貧しい經驗からいふと、家庭からすぐ幼稚園へ受けとつた子供に就て見ても、感覺の發達程度といつた方面は一體にどちらかといふと程度低く、視覺に於てもかなりに感じますが、殊に聽覺

の方面は一層無頓着と申しませうか、非常に幼稚である事を感じました。中には特に耳のよく發達した幼兒を見かけますが、それ等は主として其の生れつきによる事は勿論ながら、父母なり家庭なり即ち環境の影響による事を熟々考へさせられるので御座います。

「音の聞きわけ遊び」といひましたが、種々の樂器、玩具、器物、モンテッソリー教具、或は人聲ものまね等、色々の材料方法で致してみました。樂隊あそび等も其の一つですが、一例として鈴によつて例を申上げてみます。

鈴は實驗用の正確に作られたものなら此上もありませんが、一寸手輕に參りませぬので、玩具の柄の附いた鈴の出来るだけ同音のもの二個を一組として三組程えらびました。勿論三組は互ひに異なる音色のもので御座います。

此の遊びは主として音の高低、音色、方向、距

離、強弱等を聞き分けると共に、注意集注の練習になります。

遊びのⅠ（子供を一行に或は圓形にならばせよく）。

異なる音色の三種の鈴を一つ宛示して幾度か鳴らして順にその音色と、其鈴の形とをよく結び附けて記憶させる。

或は其三種の一つ宛に赤青黄等の糸を結びつけて區別させるも宜し。即ち赤糸のはカラン〜。青糸はチリン〜。黄糸のはリン〜といふ様に。

○先づ全兒に目をつぶらせ、或は圓の後向に坐らせ中央で一個の鈴を鳴らして何色の鈴、或は何形の鈴であるかを云ひ當てさせる。順次鈴の數を増す。各鈴を交互に用ひて繰りかへす。中央で鈴を鳴らすのは始めは保母がしても漸次に子供にさせる事が出来る。

遊びのⅡ（全體の子供目をふさいで室の中央に集る）。

○室の三隅又は四隅に鈴を置き、その中の一個をならして其の方向を云はせる。

○順次一隅の次ぎに他の一隅といふ様に二隅で續いてならして誤りなくその二つの方向をいはせる

○順次に三方、四方といふ様に數を増す。又一個をならしてどの方向でどの鈴が鳴つた、即ち條件を二つに増す。

○同様順次數を増す。進んでは同時に二個所てならして區別させる。

○二隅では同じ鈴、他の一隅で異なる鈴を順に鳴らして聽かしめ、どの方向とどの方向が同じかをいはせる。

又方向と同時に何色かをいはせる。

以上は全體の子供に答へしめるもよく、二三人或は一人にせしめる事も出来る。

遊びのⅢ

○全體は圓形を作り、鬼が一人だけ目かくしをして一個の鈴を持ち、圓周の一人がそれと同音の鈴を持ち時々鳴らすと、圓内の鬼は自分のを鳴らし乍ら圓周の鈴の音をたよりにその鳴らしてゐる人をさがしあてる。

○又此時圓の二方或は三方で他の鈴を持ち、互ひに音の混ぜぬ様順次にならす。鬼は自分の鈴を振りつゝ、他をさゝわけて同音の鈴の鳴る所をさがしあてる。あてればその人と交る。

○圓内に普通の目かくし鬼の如く二人を出し、追ひ駈ける者逃げる者各々を互ひに鳴らして、その音をあてにつかまへしむ。

以上の外まだ色々ありますが、是等の遊びのためには特に靜肅にしなければならぬ爲め、あまり長くは續けない方がよい事、漸次程度興味の進むにつれ時間を延ばす事。又前にも申述べました様

に、幼兒の耳の程度の幼稚であるため、一時に多くの材料を扱ひ又は要求する事はとるべき方法でないと思ひます。

もう一つ「音と聲」といふ題で一、二番小さい組が遊んだお話遊びを記させよう。

是はふだんの問答或はお話遊びをまとめたもので、極く單純な平易なものですが、幼兒は大層喜んで交るゝ繰返し遊びました。

準備、汽車、電車、雷、飛行機

小鳥、ひよこ、鳥、鶏、猫、雀等。

右の内汽車、電車、雷の太鼓、飛行機等は、日常子供が汽車ごつこの時細紐の端を結んで輪にし、その中に四五人並んで走つて遊びますがそのまゝの紐の所へボール紙に着色して、汽車の窓、又は電車の窓、雷の太鼓、プロペラ等を書いてのれんのようにさげて、其の氣分を表しました。小鳥、猫、鶏、波等は、やはりボール紙にその頭を書きゴム

紐で冠に作り幼児の頭につけました。波は汽車電車の様にして作れます。

此の外材料は幼児の生活に近いもの、童話の中に出てきたおなじみのもの等いくらでも増されま
す。従て人員に制限なく、全體の活動出来る事が
又面白うございます。

なほ説明者一人必要で、是は初め一二回は保姆
が致しましたが、あとは幼児の中から希望者が二
三名宛出ていたしました。

遊びの次第

先づ幼児各自希望するものになる事。人員によ
り動物類は二人又は三人位宛、汽車電車等は四五
人宛なほ増減自由。仕度して順に並ぶ。説明者正
面に出て挨拶の禮をすると、一方によけてあとか
ら出て来る者の見える位置にたつ。

説明者甲「音と聲をおききなさい。」

同 乙「汽車が來ます。」

汽車 「ビー ポツ／＼／＼ガタン コット

ン／＼／＼。」

といひつゝ、汽車になつた子供、手のピストンを
動かしつつ正面に出て一周して通る。

説明者乙「波の音をお聞きなさい。」

波 「ザブーン。ドブーン。」

と四五人が手をつなぎ前後に大きく揺りつゝ、汽
車と同様にいく。

説明者甲「電車がきました。」

電車 「チン／＼／＼ゴ。チン／＼／＼ゴ。」前と

あなじし。

説明者乙「幼稚園のピョコが來ます。」

ひよこ 「ピョ／＼／＼。ピョ／＼／＼。」前とあなじし。

以下皆おなじ(略す)。最後に全部通りすぎまし

たら

説明者は「これであしまひです。」

といふ。又は全體が出て大好きの歌をうたひます。

此の音なり聲なりは、日常遊びのうちに出てきたものですから全部幼児の考へ通りにまかせました。かうして遊んでゐるうちに、幼児が話できなくなり、どこかへ出かけた後見聞のひろまるにつれ、遊びの材料に變更を申出るのも面白い尤もの事と存じます。

前に記しました準備、材料はほんの一例ですが、遊び方又は順序等いくらも工夫できる事と存じます。場所もどこでも自由に出来ます。

おことわり

二月號の本稿中、二六頁の「色カード遊び」の文字は不要につき削除いたします。

